

Symbio Mail Magazine

No.4 (2022年6月発行)

令和3年度の総括と4年度の取り組み

令和4年度第1回シンビオ講演会の報告

シンビオ・クイズ京の温故知新 探訪(第4回)

令和3年度の総括と4年度の取り組み

前年度の前半は当会事務所の京都市左京区の応用科学研究所から京大宇治キャンパスエネルギー理工学研究所内への移転に関わる諸届と手続きおよびインターネット環境の整備等の作業で時間が取られました。その後8月中の移転完了後は、京大のインターネットによる遠隔会議施設の利用と、宇治キャンパスの京大エネルギー理工学研究所ゼロエミッション研究拠点(Ze拠点)や一般社団法人日本立地センターの支援により、オンライン方式の講演会を2回開催して、エネルギー環境問題に関するパブリックアウトリーチを指向した社会啓発活動を従来以上に活発化することができました。またコロナ感染蔓延のため昨年11月15~17日に実施が1年延期された岡山での国際会議ISSNP2021では、当会の企画で国際特別セッションを実施し、国際学術交流でも成果を上げられました。その他、本会のホームページデザインの機能拡張によりシンビオN&Rによる電子出版やメルマガの発行とともに、大学教育出版社から「岐路に立つ原子力を考える」の発刊を行いました。

当会の令和4年度通常総会は、5月11日ZOOMによるオンラインも併用したハイブリッド会議により実施し、前年度の事業を総括し、令

和4年度の取り組みを審議しました。その後、引き続き京大エネルギー理工学研究所ゼロエミッション研究拠点(Ze拠点)との共催で「カーボンニュートラルに向けての先端エネルギー科学のパブリックアウトリーチ活動」を基調テーマに第1回講演会を開催し、多数の参加者がありました。講演会の当日の概要は次の記事をご覧ください。

今回の令和4年度通常総会では、1名の理事を除いた役員全員が当日で任期満了になることから、役員全体を改選し、その結果表に示すような理事19名、監事1名の新しい体制となりました。

役職	氏名	*役割
理事, 会長	吉川 榮和	A, B, C, D, E
理事, 副会長	辻倉 米蔵	B, D
理事, 副会長	八尾 健	C, D
理事	吉田 民也	A, D, E
理事	新田 純也	A, B, E
理事	森下 和功	A, B, C, D
理事	安田 宗浩	B
理事	五福 明夫	B
理事	嶋田 学	B
理事	黒江 康明	B
理事	安部 正高	B
理事	吉川 暹	C
理事	塩路 昌宏	C
理事	篠原 真毅	C
理事	石原 慶一	C
理事	堀池 寛	C, D
理事	山本 倫也	D
理事	伊藤 京子	D
理事	永里 善彦	E
理事	中村 洋之	E
監事	藤井 有蔵	A

*役割の説明 (A: 基盤活動, B: 研究調査, C: 社会啓発1 (パブリックアウトリーチ), D: 社会啓発2 (アクティブラーニング), E: 事業交流)

[以下次ページ右※に続く]

令和4年度第1回シンビオ講演会の報告

令和3年度に引き続き「カーボンニュートラルに向けての先端エネルギー科学のパブリックアウトリーチ活動」を主旨として京都大学エネルギー理工学研究所ゼロエミッション 研究拠点との共催で令和4年度第1回シンビオ講演会を開催しました。

○日時：令和4年5月11日(水)14:45~17:30

○会場：京都大学宇治キャンパス遠隔会議室

いまだ継続するコロナ感染事態に鑑み、会場への参加者数を限定して ZOOM によるオンライン参加を主体に講演会を開催し、会場参加 18名、WEB 参加 45 名で合計 63 名の参加がありました。



講演会会場風景

2050年までのカーボンニュートラルの達成には原子力や太陽光、風力のような従来型クリーンエネルギー以外に、バイオマス、水素などの新たなゼロエミッションないしネガティブエミッション技術のイノベーションを創出する必要があります。今回の講演会ではこれらの革新的技術として、①「バイオマス生産と核融合エネルギーによるCO₂固定システムの開発」について小西哲之氏（京大名誉教授）、②「水素エネルギー技術を利用したカーボンリサイクルシステムの開発」について塩路昌弘氏（京大名誉教授）、③「宇宙太陽光発電の実証実験」について篠原真毅氏（京大シンビオ社会研究会 〒611-8202 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学エネルギー理工学研究所内 Eメール :symbio.reserch.office@gmail.com

生存圏研究所教授)にそれぞれご講演いただきました。この講演会の詳細は当会のホームページに紹介しています。[\(ここ①\)](#)をクリックください)

※[1ページ令和3年度の総括と4年度の見込みの続き]

とくに昨年度導入した顧問制度で協力いただいた顧問の方々から7名の方々に新たに理事になっていただきました。本年度の事業計画では、役員全体を基盤維持整備、研究調査、社会啓発、国内外の諸団体との事業交流の4つにグループに分けて役割分担し、事業の一層の発展を目指すものとなりました。会員の皆様の一層のご支援と活動への積極的な参画をお願いします。

シンビオ・クイズ京の温故知新探訪

(第4回) 応天門の変の真犯人は？



平安神宮の応天門（古の応天門の8分の5の実物模型）。応天門の変とは平安時代に起こった放火事件です。どんな事件で誰が放火犯？

（クイズの回答は[ここ②](#)をクリックください）



E-Mailは [こちら](#)

次号 No. 5 発行予定：令和4年9月頃

〒611-8202 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学エネルギー理工学研究所内